

2023
春号

園芸文化

みんなの広場

第35号 2023年3月5日発行

公益社団法人 園芸文化協会

〒113-0033

東京都文京区本郷 1-20-7 安藤ビル 202号室

TEL 03 (5803) 6340 FAX 03 (5803) 6341

E-mail: enbun@soleil.ocn.ne.jp

http://www.engeibunka.or.jp

園芸文化協会の活動紹介



こんなことも やっています！

事務局長 丹羽理恵

園芸文化協会では、会報で紹介している以外にもいろいろな活動を行っています。今回はそのなかより2つご紹介いたします。

「園芸文化協会長賞」の贈賞

全国各地で行われるコンテストや花き品評会の優秀作品に対し、「園芸文化協会会長賞」を贈賞しています。写真は「第10回横浜イングリッシュガーデンハンギングバスケットコンテスト」・「第71回関東東海花の展覧会」の「園芸文化協会会長賞」受賞作品です。このほか、市場内で行われる品評会や菊花コンクールなどにも贈賞しています。

第10回横浜イングリッシュガーデンハンギングバスケットコンテスト



第71回
関東東海
花の展覧会



後援・協力

団体や自治体、企業などが主催する行事やイベントに対し、後援、協力、協賛、共催（名称はそれぞれ）しています。右写真は「第41回上野東照宮冬ぼたん」の様子です。他にも「世界らん展」「北海道フィールドトリアル」「クリスマスローズの世界展」などにも後援、協力しています。

令和5年度の活動

4月より新年度が始まります。令和5年度は、ここ数年コロナで見合わせた行事を、今の時代にあった新しいやり方で再開する予定です。その足掛かりとして、先日協会のホームページをリニューアルしました。それに伴いURLが変更になりました。

園芸文化協会
新URLはこちら

園芸文化協会

検索

<https://enbun.org>



順次、内容を充実させていきたいと思えます。

時代が大きく変わりましたが、1944年の創立当初の「園芸を通じたさまざまな交流を深め、心豊かで情操あふれる社会を目指す」という思いは変わらず貫いてまいります。園芸文化協会をお役立て、ご活用ください。

日比谷公園第一花壇で学ぶ日本の園芸・日本の育種 2022 後期

日にち：12月7日（水）

会場：日比谷図書文化館4階スタジオプラス

講師：（一財）蓼科笹類植物園理事・
（株）エコパレ代表取締役 柏木治次
常務理事 奥 峰子

竹笹が自生しないヨーロッパの庭園で厳冬の竹の美しさにカルチャー

ショックを受けて以来、竹笹類研究の第一人者としてご活躍の柏木治次先生をお迎えし、竹と笹の違いや種類、植栽事例、栽培の注意点など、奥の深い話を時間いっぱいお話しただきました。

セミナーに参加して

東京都 木村唯代

ササ、タケは身近な植物ではありませんが、今回のセミナーで両者の違いと分類について、またそれぞれの管理方法などを勉強することが出来ました。タケは寿命が長いというイメージがありましたが、モウソウチクは5年経ったものは古木扱いになるということ、また、根本とフシで年齢を見分ける方法など写真付きで詳しく教えていただきました。管理面では、品種により新芽の出る時期が異なるため剪定（刈込）の時期の見定めが必要であること、タケを増やしすぎないための対策や根止め方法など、先生のご経験から得た知識を惜しみなく共有いただきました。造園材料として使用する場合の品種と特性について、自ら植え込みされたという蓼科笹類植物園を実例にスライドで教えていただき参考になりました。実際に訪れて、四季を通じてどのように変化するのか、感じてみたいと思います。今回は貴重な機会をいただきありがとうございました。



おもてなしガーデンボランティア (情熱のローズガーデン)

シンボルプロムナード公園内
「情熱のローズガーデン」
(東京都江東区)
のボランティア活動報告です



《11月12日》

ジニア、コリウスなどの1年草を除去しました。ただし、まだキレイなところは無理して抜き取らず、30cmくらいの長さで切り、ジニアのオレンジ色の花とコリウスの赤葉が美しいブーケにして、皆さんに持ち帰ってもらいました。抜いたところに葉ボタンやパンジーなどを植えました。

《12月10日》

センニチコウとトウガラシの抜き取り、パンジーやビオラの植え付けなどをしました。杉井志織さんが事前に作っておいた配植見本を参考に、各自パンジーやビオラを置いていきましたが、皆さんどう置かか悪戦苦闘していました。

《1月14日》

チューリップの球根やラナンキュラス、



プリムラなどの苗の植え付けをしました。杉井さんいわく、「管理がしやすい花壇を作れば、花がキレイに咲き、おのずとデザイン的にも美しい花壇になる」とのこと。手入れのしやすさも意識しながら植えていきました。枯葉の清掃や芝生のヘッジ切りなど、花壇整備もしっか



り行いました。春が待ち遠しいです。

《2月4日》

京成バラ園園長の村上敏さんを迎え、春バラのための剪定の仕方を教えていただきました。「バラと草花の混植花壇なので、隣に植わっている植物とのバランスも考えて」「他の植物への光を遮らないよう、ここは思い切って枝数を減らしましょう」など、「情熱のローズガーデン」に適した剪定の仕方を実演してくれました。

「情熱のローズガーデン」は、りんかい線「東京テレポート」・新交通ゆりかもめ「青海」の駅近くにあります。ぜひお運びください。



「おもてなしガーデンボランティア(情熱のローズガーデン)」講習会 2022-2023

春バラを楽しむために 剪定後の
注意点と管理

日にち: 2月4日(土)

会場: 東京港埠頭株式会社会議室

講師: 京成バラ園園長 村上敏

ボランティア参加者のスキルアップのための講習会の第4回。村上敏さんにお越しいただき、午前中に行った剪定実習をふりかえりながら、さらに詳しくお話しいただきました。「とにかく花をたくさん咲かせたい」「大きく立派な花を咲かせたい」「株を大きくしたい

など、まずどうしたいかを決め、それに合わせて切るのが大事、と繰り返しおっしゃっていたのが印象的でした。また、「生長が止まると花が咲くという習性を理解しておく、例えば四季咲きするようになってきたら、株が弱ってきた証拠なので、株へのダメージを抑える剪定をする」など、株の状態を見極めることも重要、とおっしゃっていました。

講習会はボランティアに参加してい



なくても受講可能です。ただいま4月からのボランティア参加者と講習会の参加を募集中です。詳しくはP8 または同封のチラシをご覧ください。

連載 育てるだけが園芸じゃない

貴重な植物遺産

ナショナルコレクションを観に行こう！

春 編



National
Collection
JABG National Park Collection
for Biological Species



公益社団法人 日本植物園協会 ナショナルコレクション委員会

神代植物公園 サクラソウ 品種コレクション

神代植物公園（東京都）

サクラソウは、江戸の地に生えた野草から江戸の人たちが育てあげた唯一の園芸草花といえます。

本コレクションは、東京都にある神代植物公園において、現存するサクラソウ品種をほぼ完全に網羅しており、サクラソウの愛好団体「さくらそう会」が認定している約 300 品種のうち、293 品種を保全し、伝統的な観賞スタイルの技法を用いた展示などの普及活動によって伝統園芸文化継承にも注力しています。



桜草花壇

見ごろ 3～4月 神代植物公園「さくらそう展」

神代植物公園 <https://www.tokyo-park.or.jp/jindai/>



ツツジ「本霧島」(珠洲市大谷 池上家)

能登地域に残る 江戸キリシマ系ツツジ古木群

NPO法人 のとキリシマツツジの郷（石川県）

1600年代後半に流行したツツジの代表である江戸キリシマ系ツツジは、深紅の花が多数咲く最も評価の高いツツジでしたが、現存する古木と古品種はともに数が少ないといえます。

本コレクションは、石川県能登地域に残る推定樹齢100年以上の江戸キリシマ系ツツジ7品種および「けら性」3系統等からなる550個体です。一地域としては日本最大の江戸キリシマ系ツツジの個体数と品種数であり、保全、普及、調査活動が活発に行われています。

見ごろ

5月3～5日 能登空港「のとキリシマツツジフェスティバル」
4月下旬～5月中旬 オープンガーデン公開

のとキリシマツツジの郷 <https://notokirishima.com>

我が国には 6,700 種を超える野生植物が自生し、これらや外国産種をもとに古くから数多くの栽培品種が作出されてきました。しかし現在、日本の野生植物の約4分の1が絶滅危惧種に選定され、古くに作出された栽培品種も失われつつあります。

このような現状に鑑み、日本植物園協会では、2017年7月より「野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝え

ていくこと」を目的に、ナショナルコレクション制度をスタートし、2023年1月までに14コレクションを認定しました。

これらの貴重なコレクションを多くの方に知っていただくため、季節ごとに見ごろとなるコレクションをご紹介します。今回は春編です。

詳しくは日本植物園協会ホームページ ナショナルコレクションをご覧ください。

日本植物園協会
ナショナル
コレクションは
こちらから



小田急山のホテル 庭園のツツジ

小田急電鉄株式会社（東京都）

神奈川県箱根町にある山のホテルの庭園は、三菱財閥 4 代目総帥岩崎小彌太男爵の別邸が 1911 年（明治 44 年）に建築された際に整備されました。以来、100 年に渡って管理されてきたツツジは、江戸時代に作出された他所ではほとんど見られない 30 の希少品種を含む 84 種類を保有しています。大刈り込みされたツツジは樹高 3m 以上の大きさに圧巻！周囲の雄大な景観とともに次世代に残すべき価値あるコレクションとなっています。



山のホテル庭園のツツジ

見ごろ 4 月下旬～5 月下旬 小田急山のホテル「つつじ・しゃくなげフェア」

小田急 山のホテル
https://www.hakone-hoteldeyama.jp/tsutsuji_shakunage/



サクラ '舞姫'

見ごろ 3 月中旬～4 月中旬 結城農場は事前申し込み

日本花の会 結城農場 <https://www.hananokai.or.jp/sakuramihonen/>

日本花の会 サクラの種・ 品種コレクション

公益財団法人日本花の会（東京都）

日本花の会が保有するサクラ属コレクションは、サクラ類を栽培、保存する施設としては国内最大級の 365 種類からなり、学術研究の材料としても多数利用されるなど、日本のサクラ類の遺伝資源保全に寄与しています。茨城県結城市にある結城農場内の桜見本園では、品種の保存や啓蒙を目的とした、品種保存園やモデルガーデンを設けるとともに、桜の名所づくり事業として、優良品種の苗木を量産し、日本各地に提供するなどの普及活動にも取り組んでいます。

公開および展示期間などについては、各施設にお問い合わせください

日比谷ローズ 最後の お手入れ会

2007年2月に日比谷公園第二花壇の四隅に新品種のバラ約200株を植栽したことから始まったバラ管理ボランティア「日比谷ローズ」。当協会賛助会



員の(株)花ごころをはじめ、多くの先生がたや企業様にご指導ご協賛いただきながら、のべ390名がボランティアに参加いただき、充実した活動を行ってまいりましたが、日比谷公園開園130年を迎える2033年に向けての大規模な再生整備の着工に伴い、本年8月末をもって16年間の活動に幕を下ろすことになりました。

2月6日、発足当初よりご指導いただいている有島薫さん、大野耕生さん、玉置一裕さんにお越しいたごき、春バラのための剪定、通称「お手入れ会」を行いました。5月上旬ごろにはこの地での最後のひと花を咲かせてくれることでしょう。バラたちの最後の雄姿を見届けに、日比谷公園にお運びいただけたら嬉しいです。

日比谷公園 第一花壇 の魅力



ヘメロカリス 語らい



アガパンサスの咲くころ



クレマチス 晴山



バラ 万葉 とバーベナ ロングラン

日比谷公園第一花壇では一年草の花壇の植え替えや管理作業のほかに、バラと共に楽しめる宿根草や江戸時代からの葉芸の魅力伝える花壇もあり、それらの維持管理も行ってきました。

また花壇と連動し、「日比谷公園第一花壇で学ぶ日本の園芸・日本の育種」と題したセミナーも行い、園芸文化の普及に努めてまいりました。

5年間行ってきた維持管理が本年3月末で終了になります。これからも1年を通じて日本生まれの様々な植物の魅力が伝わりますように。



葉芸の魅力伝える花壇
ササゲ 大宝錦、コクリュウ、ギボウシ 文鳥香
ツワブキ 白山

今号のひと

常務理事 黒木達司さん



しばらくお休みしていた「今号のひと」を再開し、新たに就任した役員を紹介していきます。今回は常務理事の黒木達司さんです。日頃は(株)サカタのタネの国内営業本部副本部長として

多忙を極めていらっしゃいます。にもかかわらず常に協会のことにも気にかけてくれ、何をお願いしてもレスポンスが早くて的確でこまやか。ルックスも身のこなしもスマートでダンディーな黒木常務理事です。

好きな植物は? ひまわり (迫力があり、何かを伝えるメッセージを特に強く感じます)

趣味は何ですか? 土・日のウォーキング、歴史巡り、小ハイキング、サイクリング、バイクツーリング、ゴルフプレイとそのための予習・復習、映画鑑賞、読書

座右の銘はありますか? 前向きに生きること、そ

して笑門福来をモットーに

幸せを感じるのはどんな時? 病気をした後の「健康のありがたさ」を感じる時、家族全員で集まり、楽しく食事をしている時、山や海などで自然の空気を吸い、生きているな…と、しみじみと実感するとき

最近感動したことは? World Cup サッカーでの日本代表の活躍とアルゼンチン優勝とメッシ選手の MVP

尊敬する人は? 父親

休日の過ごし方は? 早朝からのゴルフ練習、午後からウォーキングを兼ねた歴史巡りかツーリング

宝くじが当たったら? 半分は福祉関連やお身体を患っている方へ寄付をしたい。残り半分は、あれこれ日頃思っている、幾つかの欲しいものを購入したい。

皆さんへのメッセージをお願いします

園芸文化協会のはじまりの昭和 19 年、初代会長の島津重忠氏は「園芸による活動は文化の進展に資する、またこの活動により心豊かな人間性の向上に役立てる事業」として、この会を設立したと聞いております。微力ではございますが、協会活動を通じて園芸活動で心豊かな人々の輪を広げ、日本国の文化向上が出来ればと思います。どうぞよろしく願いいたします。

タンポポの品種番付

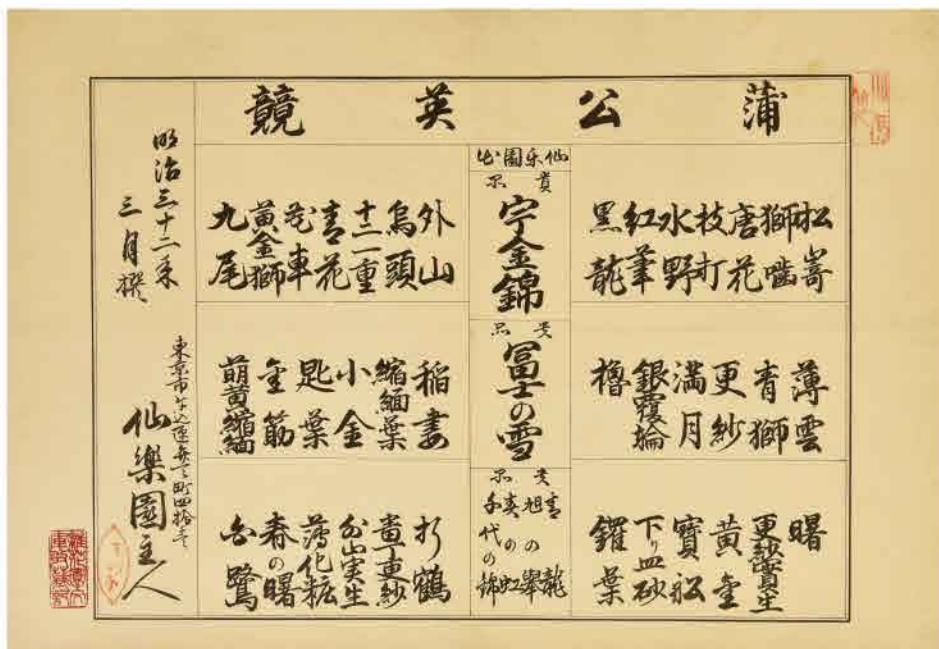
「蒲公英競」

東京牛込の住人 仙楽園主人撰
仙楽園むらかみ
明治三十二年三月撰

隠居 小笠原左衛門尉亮軒
<http://nagoyaengei.co.jp/> より

「タンポポきそい」と読む。春の野辺、道端を彩る花としてなじみが深い花である。タンポポ属は北半球温帯を中心に、やや寒冷地帯に到るまで広く分布し、分類学者によれば四百種以上の種が自生すると云う。その内我国には約二十種が自生する。明治初年、札幌農学校では北米から種子を導入し、野菜として栽培を始めたのが畑から脱出し、北海道一円に繁殖したセイヨウタンポポはまたたく間に本州に渡り、現在では日本中セイヨウタンポポの生えていないところをさがすのを苦勞する位である。

しかしよく見るとまだまだ日本固有



種の花タンポポ (関西地区に多い) 東海タンポポ (東海地方) 関東タンポポ (関東以北) など、探して見るのも面白い。

さて今回の資料は、明治中期、どこにでも自生しているタンポポに目を向け、花や葉、草姿の変種株を見つけ出

し、栽培化し名称を付けて番附とした。こうしたものの見方は園芸をする者にとって大切な視点であり、そのことが独自性のある楽しみ方に通じるのではなからうか。あなたなら、どのような植物に目を向けられましょうか。

お知らせ

訃報

松川時晴様（平成15年度園芸文化賞受賞）
立原宜弘様・山本尹男様・山本二郎様（個人会員）
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

総務委員会・事業委員会より

「令和5年度定時総会」「令和5年度園芸文化賞表彰式・記念講演」の日程が決まりました。

日時：6月14日（水）13:00～

会場：東天紅上野店

詳細は追って別途ご案内いたします。

*今後の状況により、変更および中止になる場合もあります。

広報委員会より

ホームページをリニューアルいたしました。それに伴いURLが変わりました。

新URL

<https://enbun.org> または [園芸文化協会](#)

順次、情報を更新してまいります。

講座委員会より

《セミナー実施報告》

●11月18日（金）

もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2022後期(2)「冬季に発生する病害虫の原因とその予防法について」講師：望田明利（理事）参加：25名



●12月7日（水）

日比谷公園第一花壇で学ぶ日本の園芸・日本の育種 2022後期 竹笹（タケ・ササ）講師：柏木治次（蓼科笹類植物園理事）・奥峰子（常務理事）参加：22名

●2月4日（土）

「おもてなしガーデンボランティア（情熱のローズガーデン）」2022-2023講習会(4)春バラを楽しむために 剪定後の注意点と管理 講師：村上敏（京成バラ園園長）参加：21名

《セミナー実施予定》※予告なく変更および中止になる場合もございます。

●3月5日（日）13:30～15:30

チューリップの来た道～人気の花にまつわる知られざる話～ 講師：川崎景介（理事）会場：マミフラワーデザインスクール（東京都大田区）参加費：2,500円 定員：50名

●3月24日（金）13:30～16:00

もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2022後期(3)「春季に発生する病害虫の原因と予防法」講師：望田明利（理事）会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園）参加費：各2,000円 定員：各30名 **※満席**

●4月19日（水）14:00～16:15

プロが厳選する花壇材料「猛暑に強い草花」講師：奥峰子（常務理事）会場：日比谷図書文化館4階セミナールームA 参加費：会員2,500円 一般3,000円 定員：20名

●5月19日（金）13:30～16:00

もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」～雑草・害虫・農業～(1)「除草と雑草の対策」講師：望田明利（理事）会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園）参加費：各2,000円 定員：各30名 **※残席わずか**

●「おもてなしガーデンボランティア（情熱のローズガーデン）」講習会 2023-2024

(1) 5月13日（土）13:20～15:20

自分で育てたバラを使って心もカラダも楽しく豊かに。食香バラの使い方、楽しみ方 講師：浦辺冬子（山東省平陰県バラ大使）

(2) 6月10日（土）13:20～15:20

バラの病害虫管理・梅雨どきの植物管理 講師：牛迫正秀（住友化学園芸(株)）会場：東京港埠頭株式会社会議室 参加費：会員1,500円 一般2,000円

編集長より

先日、東京都現代美術館で開催されている「クリスチャン・ディオール展」を鑑賞してきました。展示の中に庭園をイメージしたものがあって、解説を読むと、クリスチャンのお母さんが大変な園芸好きだったのでその影響を受け、クリスチャンも少年の頃から園芸好きで、フランスのヴィルモラン社のカタログをよく読んでいて、生涯、植物と庭園好きは変わらなかったそうです。園芸が好きだったというのには驚きましたが、彼の創作に植物が影響していたと思うと嬉しくなりました。

南場浩一

SUNRICH サンリッチひまわり

ひまわりで日本中に笑顔と元気を!

SUNRICH

サンリッチひまわり

タキイ種苗株式会社

<https://www.takii.co.jp>

Sunday's Garden

園芸用品の通販サイト

サンデーズガーデン Yahoo

<https://store.shopping.yahoo.co.jp/sundays-garden/>

特典「園芸文化協会会員」と表記して買い物をすると楽しい園芸グッズのプレゼントが!

一般的な園芸資材から
ハンギングバスケット・ハイドロカルチャー・
盆栽道具など

4000 アイテムの園芸資材を揃えています

柴田園芸刃物株式会社

ばらと笑顔と

10th MY ROSES

ばら専用資材
マイローズシリーズ

ばら 害虫と病気をOK

ばら 害虫と病気をOK

ばら 害虫と病気をOK

植える 育てる 楽しむ

住友化学園芸株式会社

www.sc-engei.co.jp